

令和7年度 第5学年 授業改善推進プラン

台東区立東泉小学校

	育成を目指す資質・能力	児童・生徒の実態を踏まえた課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	- 話の意図を捉え、相手の意見と自分の意見を比較しながら自分の考えをまとめる力。 - 根拠を明確にし、相手を意識して自分の考えが伝わるように話したり書いたりする力。	- 話の内容を正確に聞き取ること。 - 話したり、聞いたりする活動を通して、自分の考えを深めること。 - 段落や文章構成を意識して書くこと。 - 自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にして書くこと。	- 相手の話を最後まで聞き、質問や意見は話題に沿っているかを議題や話題を板書したり意見を対返したりして常に意識させる。 - 形態を工夫した話し合い・伝え合いの場を多く設ける。 - 様々な作品に触れる中で、段落相互の関係から文章構成を確認する。また、自分が書く文章においても、「初め・中・終わり」を段落につけ、常に意識させる。
算数	- 数値を正しく読み取り、式に表したり関係を捉えたりする力。 - 図形の性質を理解し、その性質を基に作図したり計算したりする力。	- 小数のしくみを理解すること - 数直線を使って小数や分数、比例の関係を読み取ること。 - 図形の性質を理解し、考えを広げること。 - 図形を正確に書くこと。	- 小数のしくみを理解させるために図や数直線、位取り表などを活用する。 - 数量の関係を数直線で表す機会を多くする。また、表したものを感覚的に理解させるために、言葉で説明し合う場面を設定する。 - 図形の学習の際には、既習の図形についても性質を確認する。また、理解した性質は「どのような場面で」「どのように使えるか」と考える場面を設定する。
理科	- 自然の事象を自らの生活などに結び付けて考えたり活用したりする力。 - 観察実験結果と考察を結び付ける力。	- 視点をもち、日常生活の事象と結び付けて考えること。 - 予想したことをもとに観察・実験を粘り強く行い、結果から自分の考えをもつこと。	- 児童の実体験に基づいた活動を主軸に理科の視点をもって考えられるような導入を行う。 - 日常生活の中で、様々な自然の事象に触れ視野を広げる。 - 児童の考えた予想や実験方法を大切に扱い、児童の考えに寄り添いながら学習を進める。
社会	- 学習内容と自分の生活を結び付け、社会的な見方・考え方を働かせて学習を進めていく力。 - 必要に合わせて資料を選択する力。	- 既習の学習や社会問題を自分の生活と関連付けて考えること。 - 必要な情報を得るために資料を正しく読むこと。	- 常に社会事象に目を向けさせ、学習課題と日常生活の関連に着目して学習活動を展開する。 - 資料から読み取れること、読み取ったことから考えられることを話し合う機会を多く設ける。